

日本学術会議会長談話
「学術と社会におけるジェンダー平等の実現に向けて」

2023年6月16日

日本学術会議会長 梶田隆章

日本学術会議は、2023年のScience 7の議長として、6月24・25日に開催されるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合に向け、共同声明「Reigniting the 2030 Agenda: Achieving Gender Equality Now and For Future Generations」¹を取りまとめたG7エンゲージメントグループ（Civil 7・Pride 7・Think 7・Women 7・Youth 7）の取組に深く感謝します。

日本学術会議は、社会におけるジェンダー平等の重要性を十分に認識しています。私たちは、これまで、ジェンダー平等が、科学技術の発展だけでなく包摂的な社会の実現やウェルビーイングの向上のために不可欠であるとの信念のもと、ジェンダー平等、特に学術におけるジェンダー平等の推進のための提言を多く発出してきました。日本における科学コミュニティの代表として、日本学術会議は、G7を始めとする各国のアカデミーはもちろん、社会の構成員一人一人とも連携しながら、学術及び社会におけるジェンダー平等の実現に向けた努力を続けてまいります。

¹ <http://women7.org/wp-content/uploads/2023/06/C7P7T7W7Y7-Joint-Statement-on-the-2030-Agenda.pdf>